



平成24年1月26日

各 位

上場会社名 GCAサヴィアングループ株式会社
 代表者 代表取締役 渡辺 章博
 (コード番号 2174)
 問合せ先責任者 IR室リーダー 加藤 雅也
 (TEL 03-6212-7100)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年2月16日に公表しました平成23年12月期(平成23年1月1日～平成23年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,102	5,070	5,065	953	3,334.17
今回修正予想(B)	14,950	4,220	4,220	530	1,853.32
増減額(B-A)	△2,152	△850	△845	△423	
増減率(%)	△12.6	△16.8	△16.7	△44.4	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	14,947	1,880	1,818	38	116.54

(注)平成23年2月16日に公表時においては、海外事業の現地通貨建ての項目は、為替レートを85円/USドル及び135円/英ポンドにより円換算しておりましたが、期中平均為替レートは79.84円/USドル及び128.06円/英ポンドとなっております。

修正の理由

当期の連結業績につきましては、M&Aアドバイザー事業において約20億円の売上未達となる見込みです。売上減少の主な原因は、当初見込んでいたメガ・大型案件の遅延や一部不成立、並びに円高による米国リージョンの売上換算額の減少によるものです。この売上減少に伴い純利益では約4億円の未達となる見込みです。

一方、2011年後半から日本企業における海外企業の買収(クロスボーダーM&A)がより一層活発化してきております。当社におきましても、2011年度の日米及び日印クロスボーダーの取扱件数がいずれも1位(公表ベース:ブルームバーグ調べ)となりました。また、「富士フィルムホールディングス株式会社によるSonoSite, Inc.の買収」等の案件に関与しておりますが、これらの売上は2012年に計上される予定です。

なお、当社の配当政策につきましては期末発行済株式数による1株当たり当期純利益(連結)の30%を配当の目安としておりますが、内部留保の水準などを総合的に勘案して当期の配当は当初の予想通り1株当たり1,000円を予定しております。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上